

連携体：金沢機工株式会社、北菱電興株式会社

事業概要

当社は、製造業のモノづくりを支える工業製品等の専門商社である。現状、納入商品は、競合する金沢機工(株)、北菱電興(株)を含め、各社がそれぞれで車両を手配し個別に配送しており、積載率の低い車両が運行されるなど、非効率な運用がなされている。この課題を解決するために、本事業では複数社連携で共同配送の実現に取り組み、化石燃料の使用量ならびに温室効果ガス排出量の削減を目指す。

内容

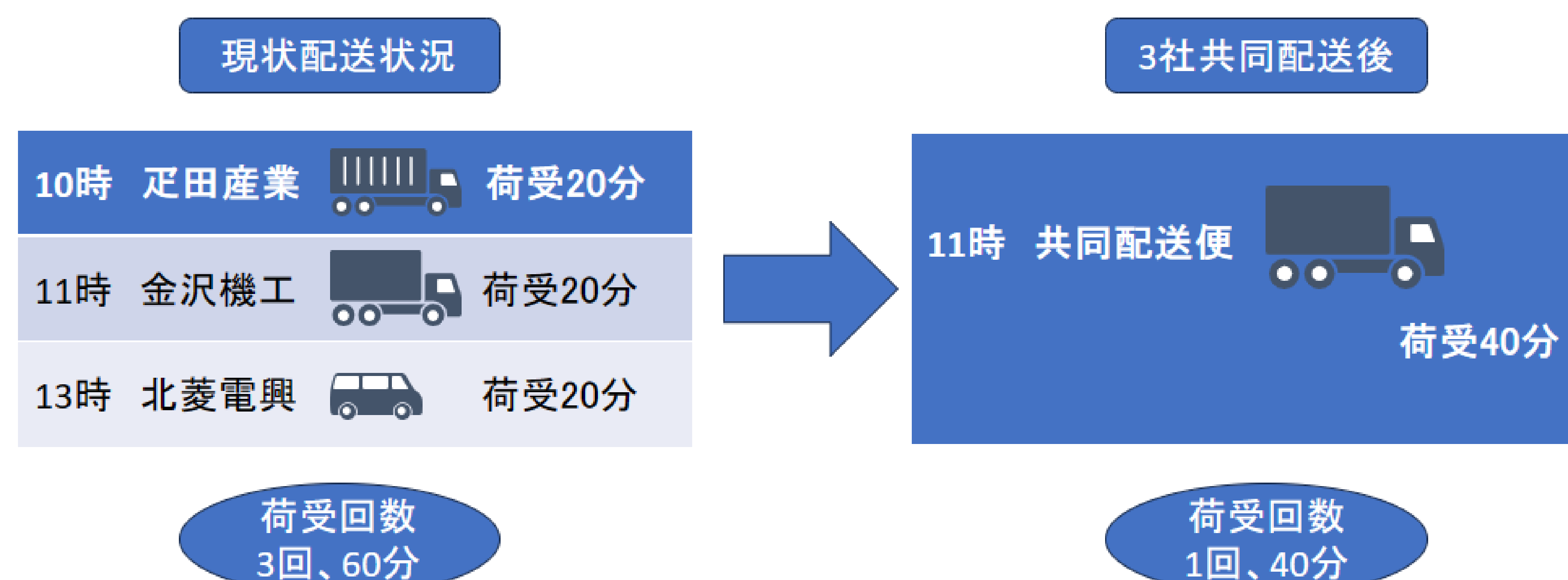
競合する同業者で共同配送実現に取り組み、下記の課題を解決する。

- ① 荷受け回数の削減 ② 積載率の向上 ③ CO₂排出量の削減

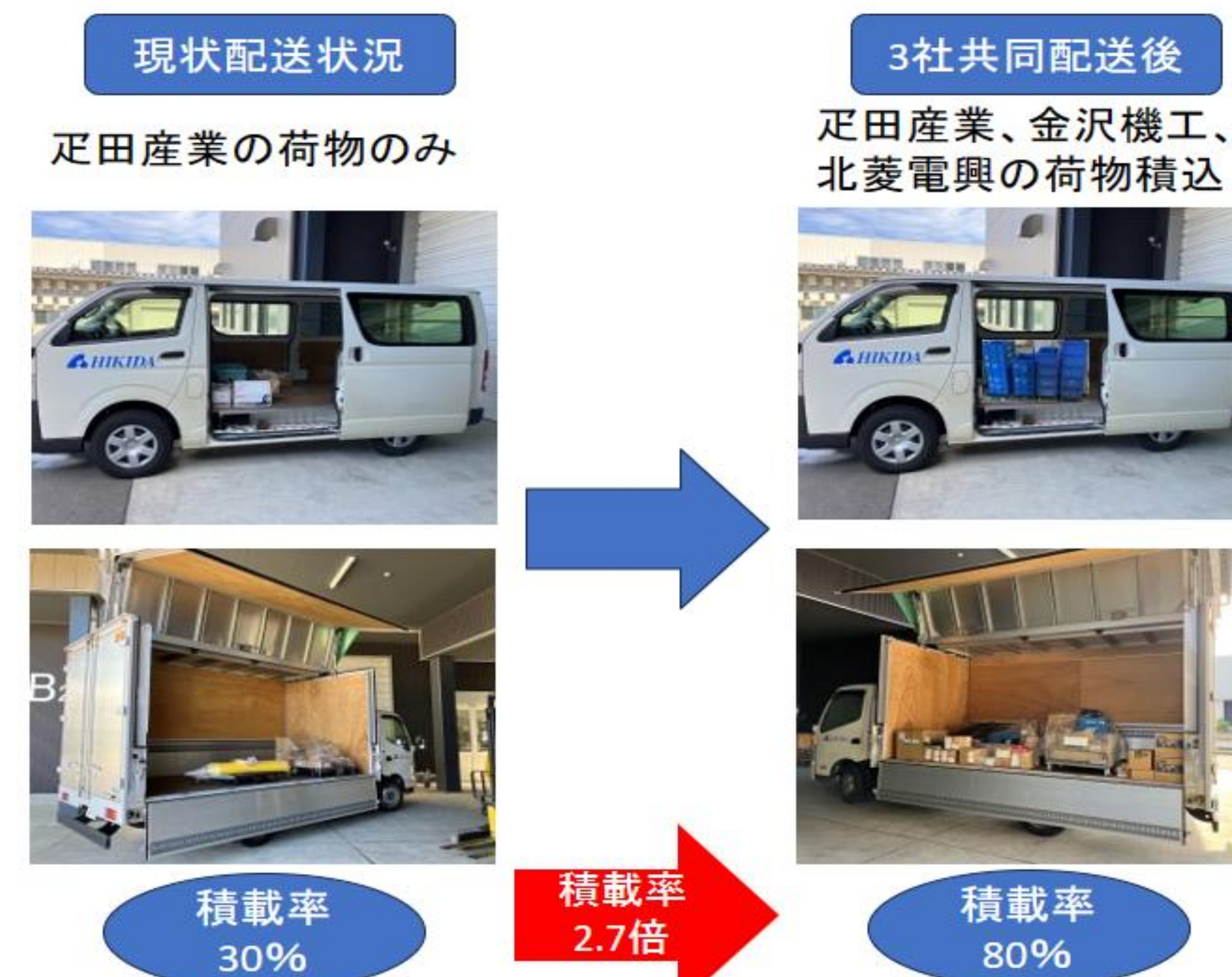
CO₂排出量削減目標試算(正田産業の計数のみ) → 3社で3倍の削減効果が期待出来る

	2022年9月期実績	車両台数削減後 見込(6台→5台)	削減量 (▲16.7%で試算)
燃料使用量	※① 16,467.44 (ℓ/年)	13,722.87 (ℓ/年)	▲2,744.57 (ℓ/年)
CO ₂ 排出量 ※②	42,815.344 (kg-CO ₂)	35,679.462 (kg-CO ₂)	▲7,135.882 (kg-CO ₂)

※① 燃料使用量は、正田産業自社配送便の年間給油量(軽油:2022年度実績)
 ※② CO₂排出量は、正田産業が『いしかわ事業者版環境ISO』登録時の算式を引用。
 <軽油使用量×排出係数2.6=二酸化炭素(CO₂)排出量>



削減効果は、▲2回、▲20分。
 荷受担当者の受入れ作業負担減。
 入荷情報の集約が実現。
 荷受け先の体制ヒアリングし、より良い体制を研究していく。



共同配送により積載率向上。
 更なる積載率向上の為、統一通い箱等活用の研究に取り組む

展望

地域のGXの課題解決のために本事業がモデルとなり、賛同企業が増加し、業界、地域、さらには県全体での取り組み・普及に繋げたい。